

令和4(2022)年度 文部科学省委託事業

# 日韓高校生交流事業 事業報告書



# 目次

事業概要	1
1. 参加者名簿	3
2. 日程	5
3. ダイジェスト	6
4. 参加者アンケート	8
5. 個人レポート	10
6. 成果発表報告会	21
7. 全体の総括	23



## 事業概要

### 1. 事業趣旨

日本と韓国の高校生の相互交流を通して、高い国際感覚を備えた青少年を育成する。

### 2. 実施関係機関

#### (1) 主催

日本：文部科学省

韓国：国立国際教育院

#### (2) 実施

日本：独立行政法人国立青少年教育振興機構

韓国：長安大学

### 3. 参加人数

日本：21名

韓国：22名

### 4. 日程

#### (1) 日本団事前研修会

令和4（2022）年10月15日（土）午後2時～午後5時

#### (2) 日韓合同プログラム

令和4（2022）年10月22日（土）午後1時30分～午後5時

令和4（2022）年10月29日（土）午後1時30分～午後5時

令和4（2022）年11月5日（土）午後2時～午後5時

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、全日程を通してWEB会議システムを使用したオンライン形式で実施。



## 1. 参加者名簿

※ 参加者氏名、学校名等は省略。



## 2. 日程

### ○日本団事前研修会

	月 日	プログラム
1	10月15日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・自己紹介</li> <li>・韓国事業講義・韓国語講座</li> </ul> 講師：石田 美智代 氏

### ○日韓合同プログラム

	月 日	プログラム
2	10月22日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式</li> <li>・韓国側講義</li> </ul> 講師：元中東大使、現朝鮮大学教授 宋 雄燁 氏 テーマ：「民間外交官としてのグローバルシチズンシップ」
3	10月29日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本側講義</li> </ul> 講師：帝塚山学院大学 准教授 稲川 右樹 氏 テーマ：「日韓大衆文化交流の歴史」
4	11月05日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動③：個人感想発表</li> <li>・全体感想発表会</li> <li>・閉会式</li> <li>・自由交流</li> </ul>

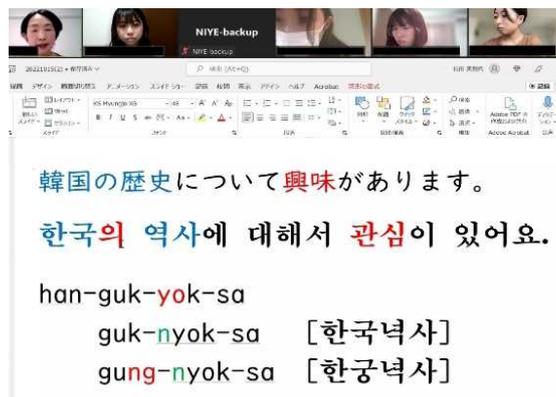


### 3.ダイジェスト

#### <10月15日(土)>

##### ○日本団事前研修会

簡単な自己紹介を行った後、石田 美智代氏による韓国事情に関する講義と韓国語講座を実施した。講義では、韓国ドラマなど身近な話題を契機として、高校生に親しみやすい内容で行われた。韓国語講座では、交流の際に使用すると想定されるフレーズを学び、韓国語の細かな発音の違いなども練習し、以降の交流に向けてしっかり準備を行った。



#### <10月22日(土)> 日韓合同プログラム1日目

##### ○開会式

日韓それぞれの参加者代表からあいさつがあり、本事業で学びたいことや参加者との交流を楽しみにしていることなどの抱負が述べられた。

##### ○韓国側講義

##### 「民間外交官としてのグローバルシチズンシップ」

元中東大使、現朝鮮大学教授 宋 雄燁氏を講師に招き、国と国との友好親善に民間人同士の交流が重要な役割を果たす事についてお話しいただいた。



##### ○グループ活動①「自己紹介・フリートーク」

グループの最初の活動として、参加者が各自で相手の国の言語で作成した自己紹介シートを用いて紹介を行った。

その後、「韓国(日本)について知りたいこと」について、相手の国の参加者が答える形でフリートークを行った。



自己紹介シート例

##### 【韓国の知りたいこと】

- どこの学校も校則が緩いのか
- 今、韓国で1番人気のkpopアイドル
- 韓国で人気の日本食
- 韓国に来たら行って欲しい場所

##### 【한국의 알고 싶은 것】

- 어느 학교도 교칙이 느슨한가?
- 지금 한국에서 가장 인기가 있는 케이팝 아이돌
- 한국에서 인기가 있는 일본 음식
- 한국에 오면 가졌으면 하는 곳

## <10月29日(土)> 日韓合同プログラム2日目

### ○日本側講義「日韓大衆文化交流の歴史」

帝塚山学院大学准教授 稲川 右樹氏を講師に招き、多くの参加者が関心をいただいているアニメ・アイドル等のポップカルチャーについて、日本文化が韓国に入るに至った歴史的背景や規制緩和に至るまでの経緯等について学んだ。



考えてみよう  
あなたが知っている  
韓国の大衆文化コンテンツ  
 생각해 보자  
여러분이 아는  
일본의 대중문화 콘텐츠

### ○グループ活動②「個人テーマ発表」・「グループ内交流」

6 グループに分かれ、各参加者が相手の国の文化について調べ、相手の国の言語で発表を行った。発表の際、相手の国の文化について疑問に思う事を投げかけ、それに相手の国の参加者が答える形でディスカッションを行った。参加者は相手の国の言語で発表することに苦戦する様子もあったが、通訳者や司会者のサポートもあり、高校生活や音楽・食文化など身近な話題などに意見交換を交わし、その後の自由交流においてはリラックスした様子で交流を楽しむ様子が見受けられた。



#### 한국 김치의 특징②

•원래 김치는 아얌다

•겨울철 보존식으로 만들어지기 시작했다

•18세기경부터 본격적으로 김치에 고추  
가 사용되게 되었다



## <11月05日(土)> 日韓合同プログラム3日目

### ○グループ活動③「個人感想発表」・全体発表会

全3回の交流を通して、「今回の研修で印象に残ったこと」「今回の研修で学んだこと」「明日から取り組んでみたいこと」の3項目について、グループ内でそれぞれ感想を発表し、今回の事業について振り返った。その後話し合った内容についてグループ代表者が発表した。

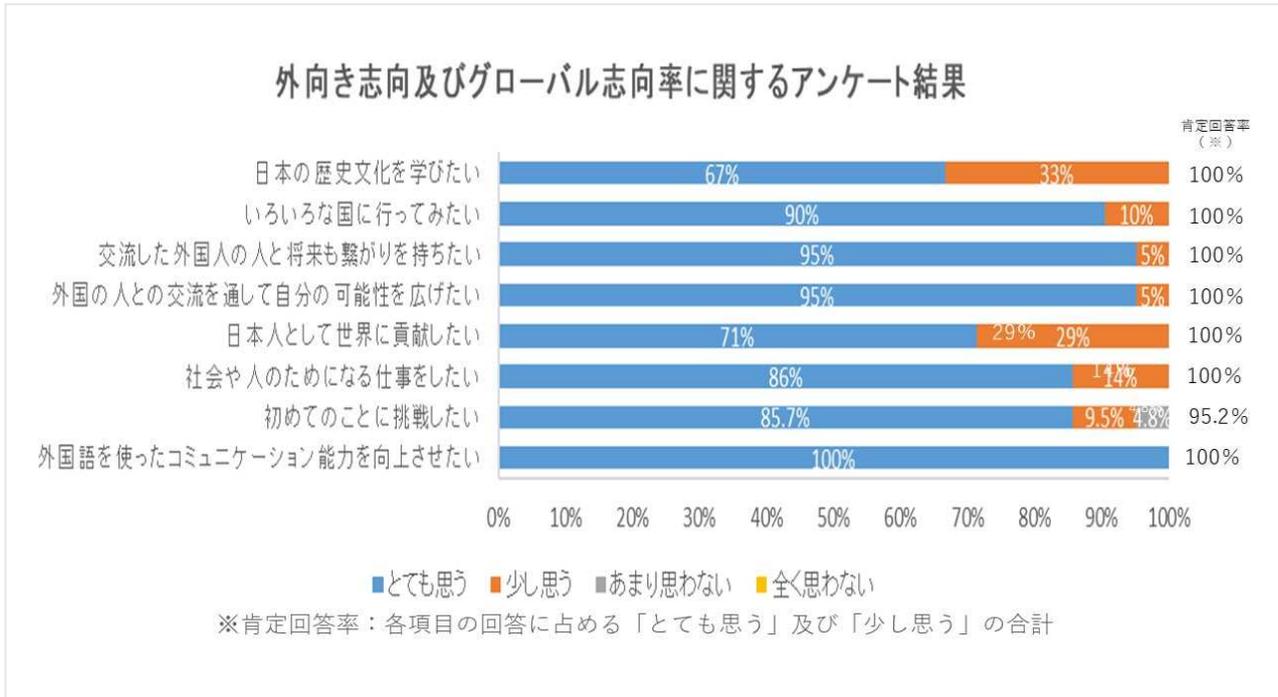
### ○自由交流

同じグループ内での参加者の他に、グループ以外の参加者とも交流できる時間を設けた。参加者は親しくなった同年代の友人との別れを惜しみながら、時間いっぱいまで交流し、楽しんでいる様子が見受けられた。

#### 4. 参加者アンケート

##### (1) アンケート集計結果

##### ①外向き志向率、グローバル人材を志向する率



##### 【外向き志向の分析】

外向き志向とは、文部科学省が定めた調査項目3項目「日本人として世界に貢献したいと思いませんか?」「外国の人との交流を通して自分の可能性を広げたいと思いませんか?」「交流した外国の人と将来も繋がりを持ちたいと思いませんか?」のアンケート結果を集計したものである。その結果、肯定的な回答（とても思う、少し思う）の集計から算出した本事業参加者の外向き志向率は100%となっており、極めて高い数値を示している。

##### 【グローバル人材を志向する率の分析】

国立青少年教育振興機構では、上記の外向き志向調査に加え、独自に語学力・コミュニケーション能力及び異文化に対する理解と日本人のアイデンティティー等を加えた8項目のアンケートを作成し、「グローバル人材を志向する率」として、平均80%以上の肯定的回答を得ることを目標に国際交流事業を実施している。本事業においては、参加者の事業後のグローバル人材を志向する率が99.8%となっており、目標を達成できたと考える。

##### ②事業全体の満足度



## (2) 参加者の声

### ①言語について

- ・韓国の方とこのような話せる機会をつくって下さりありがとうございました。韓国語を勉強してもなかなか使う機会がなく、自分の実力を TOPIK 等のテストでしか知ることができなかった。
- ・自分の韓国語が実際に伝わったことが凄く嬉しかった。
- ・頭に思い浮かぶ言葉全てを韓国語で伝えることは出来なかったため、これからもっと韓国語の勉強をしなければならないなど感じた。
- ・もっと相手国の言語を理解したいと強く思った。
- ・韓国語の勉強を継続しつつ、日本のことも話せるように頑張りたいと思った。

### ②交流について

- ・今回はオンラインではなく、直接会って交流してみたい。
- ・グループでは、日本人の方が2人ともすごく韓国語が上手で、ほぼ韓国語で会話が進んだので、すごく新鮮で楽しかった。
- ・今回は現地に行きたいって強く思った。
- ・とても楽しみながら交流でき、良い経験になった。

### ③日本と韓国について

- ・こんなにも日本や日本文化について関心を持ってくださっていることに一番驚いた。
- ・韓国について、また、自国の日本についての知識も深めたいと思った。今まで日本にフォーカスしたことが無かったが、新しい経験、考え方を持つようになった。
- ・オンラインで少しもどかしい部分もあったが、日韓関係について新しい見方を得ることができたように思った。

### ④交流の結果得られたものについて

- ・韓国人の友達もできたし、同じような思いを持っている日本人にも出会えた。
- ・みんなの前で発表とかあまりしない性格だったけど、交流会に参加するうちに授業中、少し手を上げて答えてみたり、新しいことにチャレンジできるようになった。
- ・韓国側の高校生の中で、自分の日本語がどこまで通じるのか試してみたいと挑んでいる方がいるのを知った時、その熱意に自分は敵わないと、正直とても悔しくなったが、今はそれが私の背中を押している原動力にもなり、以前よりも勉強を一生懸命行うことにも繋がった。又、私が母国の文化を沢山理解し、教えることができる存在になれば、更に自信を持って海外に行き交流ができると感じた。本プログラムは、私にとって大いに成長できる、本当に素敵な機会だった。
- ・将来韓国に行く夢があり、この経験を将来の夢のリハーサルみたいな感じでこれからも記憶し続けていきたい。

## 5. 個人レポート

※ 参加者氏名、学校名等は省略。

①
<p><b>■今回の研修で印象に残ったこと</b></p> <p>私が今回の研修で印象に残ったことは、韓国の学生は本当に大変な生活を送っていることです。日本では塾は行きたい人だけが行きますが、韓国では全員塾に行っていると聞いて驚きました。もっとキラキラしていると思っていたからです。朝は補習があり、テスト期間は朝まで勉強する人が多いと聞きました。また、「日本はなぜたくさんの神を信じるのか」という質問に、日本側は答えられなかった事も印象に残りました。自分の住んでいる国なのにこんなに知らないことが沢山あるのだと知る事が出来ました。</p>
<p><b>■今回の研修で学んだこと</b></p> <p>私は韓国が好きで、今まで韓国のことを沢山調べていたのですが、この研修を通してネットの情報だけが全てでは無いことを学びました。実際に質問をしてみると自分の思っていた事と違うことが多くあり、新しく知ったことが沢山ありました。また、実際に韓国を見てみたらまた違うのかなと思いました。オンライン交流会だけで沢山の発見があったので、いつか自分の目で見てみたいです。</p>
<p><b>■明日から取り組んでみたいこと</b></p> <p>明日から取り組んでみたいことは、韓国のことを好きではない人でも好きな人にもこの研修で学んだことを共有し、少しでも韓国に良い印象を持ってもらえるようにしたいです。韓国のほとんどの方は日本に良い印象を持っていること、日本に興味を持っている人もいるということです。このことを伝えていだけでも、実際に聞いたことなので信じてくれるのではないかと思います。ネットの情報だけに縛られて自分で真実を見に行こうとしない人が多いと思います。私も少し前まではその中の一人だったのですが、気づいた人が伝えていかなければいけないと思いました。そのために自分の勉強不足を補い、韓国語もさらに勉強していきたいです。</p>
②
<p><b>■今回の研修で印象に残ったこと</b></p> <p>オンライン上ではありますが、韓国の皆さんと交流できたことが嬉しかったです。韓国の高校生が JPOP や日本のアニメに詳しくて、交流中にたくさんお話しできたことが印象に残っています。また、日本語がとても上手で通訳しなくても理解されていたので、日本語の能力の高さに驚きました。</p>
<p><b>■今回の研修で学んだこと</b></p> <p>韓国の高校生の発表を聞いて、自分も日本の伝統文化について知らないことが多いと感じました。また、国同士が近い日本と韓国でも文化的に違う部分が多いと感じました。語学的な面では、何か言いたいことがあるときに文法や単語がわからなくても、通訳の方に頼りっきりになるのではなく、まずは韓国語を使ってみるのが重要なのだと思いました。</p>
<p><b>■明日から取り組んでみたいこと</b></p> <p>今回の交流では日本の文化について分からないことや説明できないことがありました。異文化交流をするうえで海外の文化を知ること重要ですが、日本の文化についても調べていこうと思いました。実際に交流をしていて、まだ自分の韓国語のスピーキング能力が足りていないと感じました。これからは、日常的に気になった文法や知らない単語を調べる癖をつけて、より流暢に話せるように勉強し続けようと思います。</p>

③

■今回の研修で印象に残ったこと

それぞれがお互いの文化をよく知っていたり、お互いの言語も上手に話していてすごいと思った。

■今回の研修で学んだこと

自分の国の文化について知らなかったことが多かったり、両国の文化の違いや共通点を知ったりすることができた。

■明日から取り組んでみたいこと

今回の研修で得た知識を周りに広め、もっと韓国語が上手になるように勉強していきたい。

④

■今回の研修で印象に残ったこと

今回研修で印象に残ったことは、韓国人と話すのが初めてで、自分の韓国語って本当に通じるのか不安だったけど、自分が話した韓国語がちゃんとみんなに通じたということ。

■今回の研修で学んだこと

今回研修で学んだことは、誰かと仲良くなったり、友達を作ったりすることに国という壁なんてないことを学びました。

■明日から取り組んでみたいこと

明日から取り組んでみたいことは、今回みんなと交流して私が思っていた韓国の文化とは違うことがあったので、もっと韓国について勉強したいと思いました。

⑤

■今回の研修で印象に残ったこと

人との距離の取り方が日本と違うところがあり、新鮮でした。また、韓国人の人柄が好きなので、私的にはとても楽しかったです。みんなの日本語のレベルが高すぎて、とてもびっくりしました。意外とk-popについて知らない子もいたことです。

■今回の研修で学んだこと

まずは、積極的に挑戦することが大事だということを学びました。また、日本と似ている文化もあることです。本当に韓国の学生の勉強の量に驚き、すごいなとも思いました。だから、日本語が上手い子がたくさんいたんだなと思いました。

■明日から取り組んでみたいこと

韓国語のスキルを上げるために、もっと勉強することと、会話やメールをするたびに韓国語も使ってスキルを磨いていくことです。韓国の高校生活や街の雰囲気調べ、もっと韓国について調べたいなと思いました。あと、韓国にとっても関心があるので、留学関係について詳しく調べていきたいなと思いました。

⑥

■今回の研修で印象に残ったこと

印象に残ったことは、韓国の高校生の皆さんと初めて話した日、皆さんの好きなものやどうして日本についての勉強を始めたのかを知れたことです。韓国の高校生の中には、アニメ、音楽などの大衆文化から、文学、落語などの伝統的な日本文化まで興味を持ってくれていることに気づきとても驚きました。

■今回の研修で学んだこと

私は本格的に韓国語の勉強を始めてまだ少ししか経っていないため、不安で緊張していましたが、会話をしてみると、とても楽しくてこの交流会に参加して本当に良かったと思いました。挑戦する大切さを学ぶと共に、実際に韓国語を使える良い機会になりました。また、こんなにも日本に興味を持ってもらえていると思ってなかったので、韓国の皆さんの思いを聞いて新しい考え方を持つこともできました。

■明日から取り組んでみたいこと

自分の国である日本、日本文化についてしっかりと説明できるように日本についても積極的に学び、引き続き韓国についてもより学びを深めたいと思っています。私は、色々な人とコミュニケーションを取ることや、新しい知識やアイデアにふれることが好きなのでこれからもたくさんの人達と交流したいです。

⑦

■今回の研修で印象に残ったこと

今回の研修で印象に残ったことは日韓のつながりを感じることができたことです。日韓理解講座では日本と韓国がお互いの文化の影響を受け合ってきたということ、グループディスカッションでは韓国の高校生、そして私たち日本の高校生が相手国の文化にとっても興味があるということがわかり、オンライン上でも韓国と日本の深い関わりを知ることができました。

■今回の研修で学んだこと

今回の交流を通して自分が思っていた以上に日本について知らないことが多いということが分かりました。特にグループディスカッションでお互いの流行しているものについて話していた際、日本についてのことをうまく答えることができず、韓国のものばかりに詳しくなっているということをとっても感じました。相手国のことばかりではなく、まずは自国である日本のことについて知るべきであるということ学びました。

■明日から取り組んでみたいこと

今回の研修で交流した方々とこれからも交流を続け韓国語での会話がスムーズにできるように韓国語の勉強に取り組み、語学力を向上していきたいです。また相手国の韓国、自国である日本の文化について勉強し、双方の国についてより理解を深めていきたいです。そして、韓国に興味のある人やそうでない人にも、今回の研修を通して知ることができた韓国のことをたくさん伝えていきたいです。

⑧

■今回の研修で印象に残ったこと

韓国の学生の方々が想像以上に日本語が上手だったことです。発表や質疑応答の際に、ファシリテーターの方を介さずとも流暢な日本語を話していてとても驚きました。また、韓国でも日本の様々な大衆文化が流行っていて、日本語を学ぶきっかけとなっていて自分と似ている点があると感じました。

■今回の研修で学んだこと

韓国でも日本の様々な大衆文化が流行っており、お互いの文化がお互いの国で流行っていることは昔からであり、互いに影響を与える相互的な関係があることを知りました。また、隣国でも性格や学校生活や進学の仕方に違いがあるなど、想像していたこととは違うことがありました。

■明日から取り組んでみたいこと

日本について聞かれた際に自国なのに分からないことがあったりしたため、韓国だけでなくお互いの国をもっと詳しく知りたいと思いました。また、コミュニケーションをもっと上手に行えるように韓国語の勉強をしっかりと行いたいです。そして、知り合った方々ともっと交流して仲を深めたいです。

⑨

■今回の研修で印象に残ったこと

オンラインではあったものの、韓国人と交流するというめったに無い経験ができた。韓国の高校生の皆さんの日本語がとても流暢で驚いた。日本の文化についてよく知っていて感激した。

■今回の研修で学んだこと

日本の文化についての質疑応答で答えづらい質問もあり、もっと自国の文化について知らないといけないと感じた。自分の考えを韓国語で伝えるのがとても難しく、通訳の人にたくさん頼ってしまったことから、まだまだ韓国語の実力が足りないと思った。

日本と韓国では似ているところがたくさんあるけど、全く違う部分もあって、距離が近いのにこんなに違いがあるのかと驚いた。

この交流の前は日韓関係についてあまり良いイメージがなかったけど、講義や交流を通して相手国の人と実際話をするすることで、日韓関係へのイメージがもっと前向きなものへと変わった。

■明日から取り組んでみたいこと

韓国語でもっと自分の意見や気持ちを伝えられるように韓国語で会話をすることに慣れていきたい。同じグループの人と SNS を交換したのでこれからも交流を続けていきたい。

⑩

■今回の研修で印象に残ったこと

今回の研修で日本と韓国のエンタメには昔から深い関係があることが印象に残りました。私は今まで、日本と韓国のアイドル文化は全く別物だと思っていました。ですが、日本の少年隊などのアイドル文化が韓国で 1 番最初に SM エンターテインメントから誕生した、H.O.T. に影響していることを知って、日本と韓国のアイドル文化に繋がりがあったことに驚きました。

■今回の研修で学んだこと

違う国籍の人と交流することで、その国の文化に対しての理解がより深まることを実感することができ、交流しなければ知ることができないこともあるということがわかりました。違う国籍の人たちと交流することが差別や偏見をなくすきっかけなのではないかと思いました。

■明日から取り組んでみたいこと

私はこれからも韓国について沢山調べ、文化や流行りに触れていこうと思いました。しかし、韓国側からの質問で、「日本の文化」や「流行っている物は何か」などの質問に対して答えられないことが沢山あり、そして答えてあげられなかったのがとても悔しいので、これからまず日本について歴史や文化など勉強していく必要があると思いました。

⑪

■今回の研修で印象に残ったこと

私のグループの日本人の方は2人共とても韓国語が上手だったので、ほぼ韓国語で話を進めたのですが、そんな環境が初めてだったので緊張もありましたが楽しくて印象に残っています。  
また、実際に今韓国で流行っているものを教えてもらったことも印象深かったです。

■今回の研修で学んだこと

個人発表を準備していく中で、韓国について調べる時間が増え韓国の文化等について学ぶことができました。そして、皆の発表を聞いていると韓国の方が思う日本のイメージなども知れました。そして、韓国と日本の違いや、同じ点についても学ぶことが出来ました。

■明日から取り組んでみたいこと

思い浮かばない韓国語等もあり、言いたいこと全てを伝えることが出来なかったため、やはり韓国語の勉強が必要だなと感じました。  
また、韓国の方に日本についての質問をされた時に私も知らないことが多く、他国の人との交流をする際には、自分の国についての理解も必要だなと感じました。そのため、この文化は日本だけなのかな？等、疑問が思い浮かべばすぐに調べたりして知識を蓄えようと思いました。

⑫

■今回の研修で印象に残ったこと

韓国の制服について  
韓国ドラマではよく制服を着こなしていたり、制服を着ていないことが多くみられる。それは、本当だったのでびっくりした。とても憧れがあるのですごく羨ましいですが、学校によって違うということがわかった。学校が厳しかつたら制服をちゃんと着ないといけないところもある。だが、校門で先生にバレるといけないみたいだ。  
それから、学年が上がるにつれ、制服を着ていないという人もいるみたいで、パジャマを着て学校に行くこともあるそうだ。

■今回の研修で学んだこと

何事にもチャレンジすること。  
韓国人も日本人も同じようなことに対して偏見を持っている。例えば韓国には辛い物しかないとか、日本人は毎日寿司を食べるとか。決してそんなことはないのに、無意識に偏見や見たことだけを持っている。韓国ドラマとか SNS とかで見た情報が正とは限らないから、気になることや知りたいことをネットの情報だけではなく、知りたいことがあれば今回のような交流会など韓国を知る場面で積極的に参加することが大事だと学んだ。

■明日から取り組んでみたいこと

日本のことを知ることと韓国語の勉強。  
私は韓国語をもっともっと練習して通訳なしで会話できるようになり、いろんなことを話したい。だから今まで以上に韓国語の勉強を頑張りたいと思う。それからまずは自分の国のこと、日本の歴史や有名な本とか、知っていて当たり前のようなことなど、知らないことが多いため日本のこともちゃんと勉強したいと思う。それで日本と韓国の文化とか違うところとかを話せるようになりたい。まずは日本と韓国語の勉強を頑張る。

⑬

■今回の研修で印象に残ったこと

学校生活の違いや大衆文化についてです。韓国は勉強を中心とした学校生活を送っており日本は勉強だけでなく部活動にも力を入れて生活しているという大きな違いがあるということが印象に残りました。そして、大衆文化の歴史でお互いの国が影響を与え、似ている点もあることについて知ることが出来たのが、とても印象に残っています。

■今回の研修で学んだこと

こうやって実際に交流をすることによって学ぶことが出来たことも多く、知らないことから生まれたお互いの誤解や偏見などを解くことに繋がるのではないかと思いました。そして、自国の質問に対して自分たちでも答えることができないことが多くて自分の国についても学ばなければならないことに気づくことも出来ました。

■明日から取り組んでみたいこと

明日からはもっとお互いの言語を勉強し、相手国のことだけではなく自分の国についても勉強したいと思います。そして、今回の交流で知ることが出来たお互いの国の良さを周りの人達に伝えることが出来たらいいなと思います。今回の交流で出会えた同じグループの友達とこれからも仲を深めていきたいと思っています。

⑭

■今回の研修で印象に残ったこと

今回の研修で印象に残ったことは韓国と日本の勉強や部活動への優先順位の違いでした。韓国の方は1日中勉強をする日が多く、部活動はあっても学習を優先している学校がとても多いようです。しかし、授業の時間割や登下校の時間帯では日本と共通するなど、全体的に価値観が似ているようで似ていない、とても不思議な感覚でした。ほかの疑問にもお互い答え合いながら共有することができ、その全てが非常に興味深かったです。

■今回の研修で学んだこと

今回の研修で学んだことは、韓国側も日本側も予想していなかった分野にお互い興味を持っていたことです。例えば、日本の偏差値やK-POPについてお互い質問をしました。しかし、このような質問に対してお互い上手く答えることができず、逆に母国について相手に教えてもらうことまでありました。母国の文化を幅広く知った上でコミュニケーションができれば、更に良い異文化交流になると今回学ぶことができました。

■明日から取り組んでみたいこと

私が、今後取り組みたいことは更に自分の国の日本の文化や伝統について知ることです。海外の方が持つ興味に少しでも共感できたら会話もより弾むと感じました。又、韓国語でもっと流暢に話ができたらどんなに楽しいだろうと思いました。今後は韓国語の授業のみならず、アプリやテキストなどを最大限に活用し、韓国に行くという自分の夢を叶えたいです。そして、本事業で出会った方ともお会いしたいです。

⑮

■今回の研修で印象に残ったこと

日本と韓国は似ている文化が多いと聞いており、自分も今までそうだと思っていたが、実際に交流してみると意外と沢山の違いがあるということに気付いた。

■今回の研修で学んだこと

どれだけ難しくても、自信がなくても、諦めずに相手の国の言葉で話すことが関係を近づけてくれるということ。

■明日から取り組んでみたいこと

交流をしながら、韓国語が瞬時に思い浮かばず、もどかしかったことが多々あったので、今以上に韓国語の勉強に力を入れたい。

⑯

■今回の研修で印象に残ったこと

同じ学生だけど、全くといっていいほど生活の仕方などに違いがあり、交流して楽しかったです。特に、高校生活の違いについて話していたことが一番印象に残っています。

■今回の研修で学んだこと

隣の国で近くにいるのに、さまざまな文化の違いがある事が分かった。特に、学校生活では「科目の違い」「塾に通う」「夜学習」など日本での学校生活には無いことが多く、韓国について色々学べたなと感じました。

■明日から取り組んでみたいこと

この交流を通して、よりお互いの国の言語についてもっと勉強をしたいと感じた。また、自分が興味のある事以外にも積極的に知っていけたらいいと感じた。そして、今回の交流での繋がりを今後も大切にしていきたい。

⑰

■今回の研修で印象に残ったこと

お互いの言語が完璧では無くても、相手に伝わるように話していたところです。相手国言語で発表をしてからお互いの言語で話す機会が多くなったと思います。私自身も第二回目の個人発表をしてから韓国語を使って話す事に対して、抵抗がかなり無くなったと思います。お互い気になる事や聞きたかった事も相手国の母国語で話そうとしている相手を見て嬉しくなり、聞きやすい雰囲気になったと思います。

■今回の研修で学んだこと

外国語は完璧では無くても、使ってみることが大事だと言う事です。この交流会に参加する前は完璧に話せないといけなないと考えていましたが、交流をしていく中で、とにかく単語と単語をつなげるだけでも伝わるという事がわかった。勇気を出して韓国語を話してみることが大切だと思った。

■明日から取り組んでみたいこと

積極的に外国語だからと諦めずに勉強する事です。最近では韓国語だけではなく英語にも挑戦してみようと思っています。自分自身が様々な国の人々と話せるようになりたいと今回より強く思うようになりました。まずは、世界共通語でもある英語を今、勉強したいと思っているので自分のスピードで頑張ろうと思っています。

⑱

■今回の研修で印象に残ったこと

相手国の言語での発表だったにもかかわらず、どちらの国の人も通訳を通さなくても理解できるほど相手国の言語がとても上手で印象に残っています。また、日本の文化である着物や浴衣、お祭りなどについて私が知らないことまで深く調べていたり、自分にとって当たり前で、深く考えたことがないことについても質問したりしてくれたのでそれも印象に残っています。

■今回の研修で学んだこと

韓国と日本は距離的にも近く、単語も似ているものがあつたりするので全体的に文化なども似ていると思っていたが、自分が思っていたよりも違うということがわかりました。また、「アニメで～しているのをみたけど本当？」という質問が多く、多くのものが実際に日本で本当にされていることだったので、相手の国のアニメやドラマを見ることも相手の国を知るためのよい方法だと思いました。

■明日から取り組んでみたいこと

日本の文化について質問されてもわからず、答えられなかったこともあったので、自分達の国の文化についてもっと調べたいと思いました。また、インスタグラムの交換もしたので今回の交流会だけのつながりにせず、これからもずっと連絡をとっていきたいです。今回の交流会では、瞬時に韓国語を話さなければいけない場面で言葉が出てこないこともあったので、もっと韓国語の勉強を頑張りたいと思いました。

⑱

■今回の研修で印象に残ったこと

お互いの言語を流暢に話せる人が多いことが印象に残った。

■今回の研修で学んだこと

学校生活や普段の生活で似ているところもあれば全く違うこともあるということを知った。

■明日から取り組んでみたいこと

このメンバーとの関わりはこの交流で最後にせず、ずっと関わり続けたい。  
生活の中で外国の方ともっと関わって語彙力の向上を目指したいです。

⑲

■今回の研修で印象に残ったこと

韓国と日本の先生方の講演を聞いて、日韓の交流の歴史や他の国の方と交友関係を築く上で、大切だという事がよく分かった。特に相手の国の人の文化や、歴史を理解するということにまず何よりも大切だと学んだ。

また、日本と韓国のみなさんと会話をする中で、考え方や感じるところが違ってもあれば、同じところもあるということに気づき、住んでいる国は異なっても同じ人間だなと思った。

■今回の研修で学んだこと

韓国語で資料を作ったり、話してみたり、自分の韓国語を人に伝えるのは、はじめてでしたが、勇気を出して喋ってみるとすごく楽しかった。まだまだ上手く喋れないけれど少しでも伝わっていればいいと思う。

韓国の皆さんはとても日本語が上手だったというのが印象的でした。私が韓国に関心があることと同様に、日本に関心のある外国の人がいるというのが嬉しかった。

■明日から取り組んでみたいこと

韓国語の勉強に励みたい。  
国際理解を深めること。

⑳

■今回の研修で印象に残ったこと

今回の研修で印象に残ったことは、韓国の人たちの日本語がとても上手だったことです。日本のことを勉強してくれていると実感することができました。日本人たちも韓国語が上手な人ばかりで、私も頑張ろうと思いました。

■今回の研修で学んだこと

今回の研修で学んだことは、韓国の色々な文化を知ることが出来たことです。日韓の様々なことについて共有をする中で、日本のことについても知らないことがあったので、知ることが出来て良かったです。もっと韓国の文化について調べていきたいと思います。

■明日から取り組んでみたいこと

明日から取り組んでみたいことは、今回の活動の経験を活かして、韓国語だけではなく韓国の文化、食べ物や日本とは違うルールなどをもっと勉強していきたいなと思いました。

## 6. 成果発表報告会（抜粋）

（※高校名は省略）

（1）

参加事業名	日韓高校生交流事業
成果発表会日時	令和4（2022）年 12月 22日（木）
成果発表参加人数	約14人
※主な発表内容、成果発表会の様子や実施した感想など。	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本の少年隊などのアイドル文化が韓国の第一世代のアイドル文化に関係がある事を知り、日韓のエンタメには昔から深い関係があることがわかった。</li><li>・韓国の側から浴衣と着物の違いを質問された時に答えられなかったことなどから、日本の事を知らないと交流が成り立たないことがわかった。</li><li>・翻訳機などで出てくる単語ではなくネイティブが実際に使う単語を知ることができた。</li></ul> 今回の発表で、交流事業の振り返りをすることができ自分の日本の文化の無知さなどの反省点を改善していきたいと思った。

（2）

参加事業名	日韓高校生交流事業
成果発表会日時	令和4（2022）年 11月 16日（水）
成果発表参加人数	約500人
※主な発表内容、成果発表会の様子や実施した感想など。	今回の成果発表で今回の交流会で学んだ国際交流の難しさや参加して思った事やわかった事について発表しました。
※報告書に掲載できる写真をメールにて添付してください。1,2枚程度。	私がこの交流を通して1番感じた事は国際交流では相手国についての情報を事前に調べておくことも大切ですが、自国についても知っておくべきだと感じました。その他にも知らないから生まれる誤解や偏見もあるけれど諦めずに交流をすることが大切だと言うことなどを発表しました。 発表は全校生徒の前で行った為、とても緊張しましたが自分達が体験した国際交流の大変さと楽しさを上手く伝えられたと思います。生徒の皆さんも真剣に聞いてくださり、とてもいい発表ができたと思います。 唯一、残念だった点はパワーポイントを使って発表ができなかったことです。時間の関係で使えなかったので話だけで生徒の皆さんに私たちの伝えたいことが上手く伝えられていたらいいなと思います。

(3)

参加事業名	日韓高校生交流事業
成果発表会日時	令和4(2022)年 11月 14日(月)
成果発表参加人数	40人
※主な発表内容、成果発表会の様子や実施した感想など。	発表内容 交流事業の具体的な内容の説明、感想や学んだこと、今後に活かしたいことについてスライドショーにまとめ発表した。
※報告書に掲載できる写真をメールにて添付してください。1,2枚程度。	感想 この成果発表会を楽しみにしてくれた人がたくさんいて、発表しながら興味を示してくれた人が多く見られた。発表会を実施したことで交流に参加しなかった人たちにもこういう日韓交流があるんだということを知ってもらえたし、自分自身も3日間の体験を思い返して新たに気づいたこともあり、改めて充実した時間を過ごせたなと感じた。韓国の高校生と実際に交流して感じたことを当事者でない人に説明するのは簡単なことではないけど、一人でも多くの人に知ってもらい、少しでも日韓関係に興味・関心を持ってくれたら、両国の橋渡しの存在としての役割を果たせるのではないかと思った。この一度だけではなくまた機会があったら交流に参加して同時に沢山のの人に自分が感じたことを広める活動もしていけたらと思う。



## 7. 全体の総括

### (1) 企画について

本事業は、日本と韓国の高校生の相互交流を通じて、友好親善を深めることや国際的な視野と資質を持った青少年の健全育成を図ることを目的としている。

今年度は令和 3 年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮して WEB 会議システムを使用したオンライン形式で開催した。

### (2) 成果

今回は、参加者が「相手の国を知ること」「よりよい国際交流を行うためには自国のことを知る必要があることに気づくこと」を目標にプログラムを構成した。

本プログラムでは、初日・二日目共に各参加者に相手の国に対する質問を用意してもらい、それに相手の国の参加者が答えてもらうように考慮した。これは、相手の国への質問を考える段階で、相手の国の現状を知ったうえで相手の国の参加者に質問すること、その質問に対して回答する際には自国の状況を自分なりに理解することを通じて国際交流において自国の事を知る重要性に気づいてもらう事を目的としている。

本プログラムに入る前の日本側の事前研修では、韓国事情に関する講義を実施するとともに、講師の留学時に、韓国人から日本の事について質問されて答えられなかった体験談から自国のことも理解する必要性があることをお話しいただいた。

本事業の参加者は相手の国に大きな興味・関心を持っており、「相手の国に対する質問を考える」という課題について特段苦勞する事はない。一方で、「相手の国の参加者からの質問に答える」という課題については、時折答えに詰まるという現象が起きる。それは、参加者自身が、自国の事柄でも興味・関心のない分野についてはよく知らないことが原因である。一口に「〇〇国に興味がある」と言う場合にも、その内容は人それぞれである。国際社会に出て行くとき、相対する人々の自国に対する興味・関心は幅広く、自らが知らない分野について聞かれることもしばしばある。それに対して十分な対応ができなければ、深い交流をすることは難しい。今回、本事業では自国に興味・関心のある相手の国の参加者と直に交流する中で、「自国の事を聞かれたのに分からない」という状況を経験することで、自国の事を知り、交流の相手方が有する自国に対する興味・関心に答えることの重要性を各参加者に知ってもらいたいと考え、このプログラムを計画した。

その結果、日本側参加者アンケートの「日本の歴史・文化を学びたいと思いますか」という質問に対して、事前の段階で「とても思う」が 43%「少し思う」が 52%「あまり思わない」が 5%であったに対して、事後に「とても思う」が 67%「少し思う」が 33%と、肯定的な回答が多く見られた。この結果から、本事業の企画意図が一定程度実を結んだものと推察される。

### (3) 課題

本プログラムでは参加者全員に発言してもらうことを念頭に置いたため、各グループ活動における参加者の冒頭の発言は出来る限り短くなるように誘導したが、結果的に一部のグループにおいて時間が余ってしまった。余った時間を使って自由に交流してもらったが、今後は、「時間が余ること」も想定し、「時間が余った場合に行うプログラム」

の候補をいくつか用意することで、その時間をもっと有効に使えるのではないかと考える。

#### (4) 謝辞

最後に、今回の企画・運営に際し、多くの方に携わっていただいたことで、日韓の高校生にとって有意義な研修を展開することができた。プログラムに協力していただいた全ての方に感謝を申し上げる。



令和4（2022）年度 文部科学省委託事業  
日韓高校生交流事業 事業報告書

---

令和5年3月発行

編集発行



独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国際・企画課

<http://www.niye.go.jp>

〒151-0025 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL 03-6407-7756

---

本報告書は、文部科学省の青少年国際交流推進事業委託事業として、独立行政法人国立青少年教育振興機構が実施した令和4年（2022）年度「日韓高校生交流事業」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。